

## 令和5年度 さくらんぼ(雨よけ) 病虫害防除暦

ながのブロック

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍 率	散布量 (10a当り)	対象病虫害 *太字は重点 病虫害	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項
1 発芽前 月 日	—	水  スプレーオイル	98 ℓ  2 ℓ	  50 倍	300 ℓ	カイガラムシ類 (ハダニ類) (胴 枯 病)	発芽前	—	○温暖無風の日を選び丁寧に散布する。 ○胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な患部は削り取り、トップジンMペーストを塗布する。 ○カイガラムシの多い園ではアプロードフロアブル1,000倍(100mℓ・7日前まで)を加用散布する。
2 開花始め 月 日	7  28	水 展着剤(マイリノー) フルーツセイバー  サムコルフロアブル10	100 ℓ 5 mℓ 66 mℓ 40 mℓ	 1,500 倍 2,500 倍	400 ℓ	灰 星 病 幼果菌核病 ハマキムシ類 ケ ム シ 類	前日まで  前日まで	3 回以内  3 回以内	○ホウ素欠乏の発生が心配される場合はエイトビー1,000倍(100mℓ)の特別散布を実施する。(ミソ玉)
5月中旬にコスカシバ対策として、スカシバコンL(10a当り100本)を設置する。									
3 5月中旬 月 日	11+7	水  ナリアWDG	100 ℓ  50 g	  2,000 倍	500 ℓ	灰 星 病 褐色せん孔病 炭 疽 病 幼果菌核病	前日まで	3 回以内	○果面の汚れを減らすため、展着剤は使用しない。 ○灰星病の重要な防除なので、丁寧に散布する。 ○摘芯、摘果等の作業を適期に行う。 ○カメムシの発生が心配される場合は、ダントツ水溶剤2,000倍(50g・前日まで)を加用散布する。



特 散	M1	水 展着剤(マイリノー) キンセット水和剤80	100 ℓ 5 mℓ 100 g	1,000 倍	500 ℓ	褐色せん孔病	収穫後	3 回以内	○褐色せん孔病の発生が多い園では、前回散布から3週間以内に散布する。
9 9月上中旬 月 日	1	水 展着剤(マイリノー) スミチオン乳剤	100 ℓ 5 mℓ 100 mℓ	1,000 倍	500 ℓ	ハマキムシ類 (ケムシ類) (コスカシバ)	14日前まで	2 回以内	○コスカシバの発生が多い場合は10月以降にトラサイドA乳剤200倍(500mℓ)を主幹・枝を中心に散布する。